

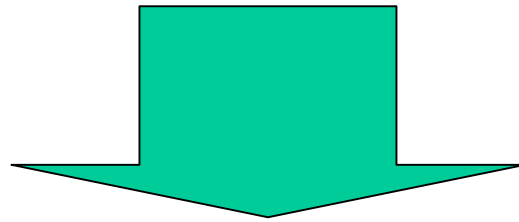
# 鳥取県内における過重労働の実態と 産業医の取組みに関する調査結果について

労働者健康福祉機構

鳥取産業保健推進センター

# 調査の目的

- 鳥取県内の中規模事業場の過重労働に関する実態



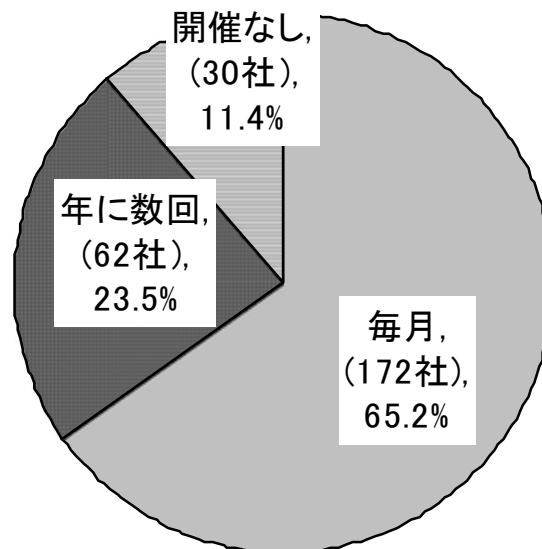
- 過重労働による健康障害の防止について、具体的対策を講じていくための基礎資料として活用

# 調査対象と方法

- 調査対象481事業場のうち、回答のあった264事業場について集計（回収率54.9%）
- 調査対象産業医339名のうち、回答のあった186名について集計（回収率54.9%）
- 調査票を用いた通信調査方式によって実施

# 事業場における産業保健活動の実態

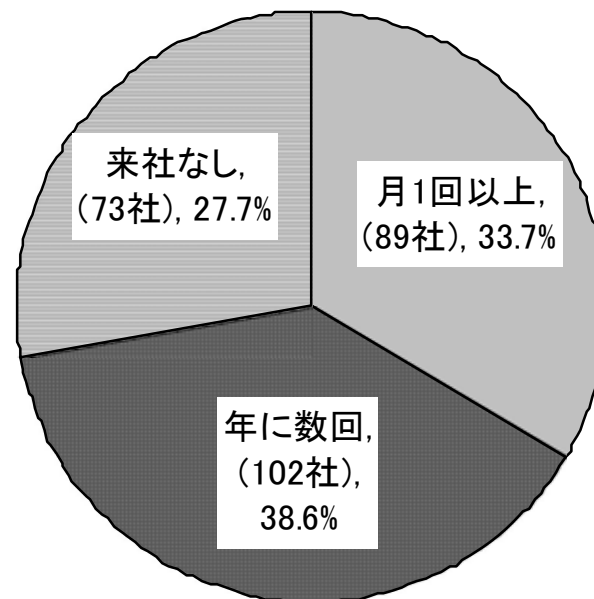
衛生委員会の開催状況



「衛生委員会の開催状況」

選択項目	総計		50人未満		50～99人		100～299人		300人以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
毎月	172	65.2%	12	46.2%	73	60.8%	69	74.2%	18	72.0%
年に数回	62	23.5%	10	38.5%	31	25.8%	16	17.2%	5	20.0%
開催なし	30	11.4%	4	15.4%	16	13.3%	8	8.6%	2	8.0%
合計	264	100.0%	26	100.0%	120	100.0%	93	100.0%	25	100.0%

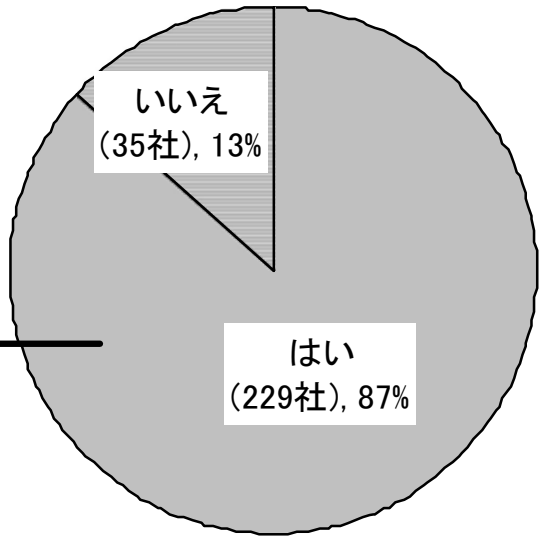
**産業医の来社回数**



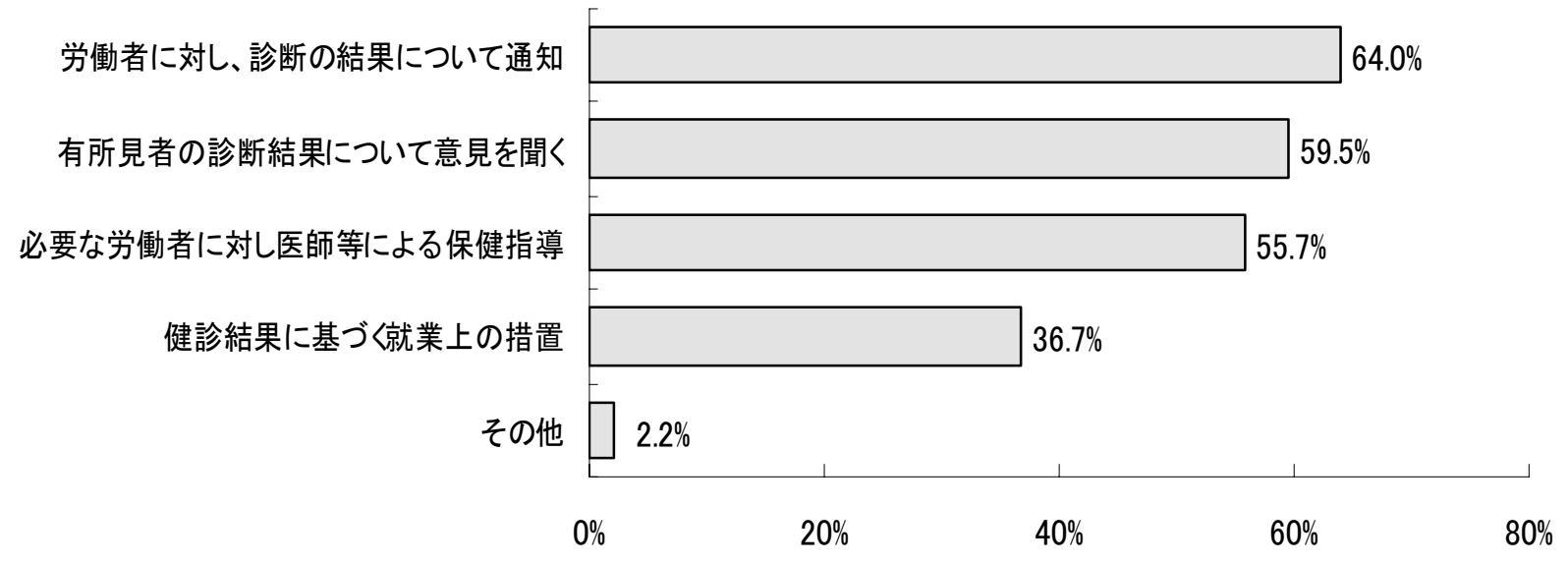
**「産業医の来社回数」**

選択項目	総計		50人未満		50～99人		100～299人		300人以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
月に1回以上	89	33.7%	3	11.5%	38	31.7%	32	34.4%	16	64.0%
年に数回	102	38.6%	8	30.8%	48	40.0%	38	40.9%	8	32.0%
来社なし	73	27.7%	15	57.7%	34	28.3%	23	24.7%	1	4.0%
合計	264	100.0%	26	100.0%	120	100.0%	93	100.0%	25	100.0%

# 産業医等による健康診断事後措置の依頼

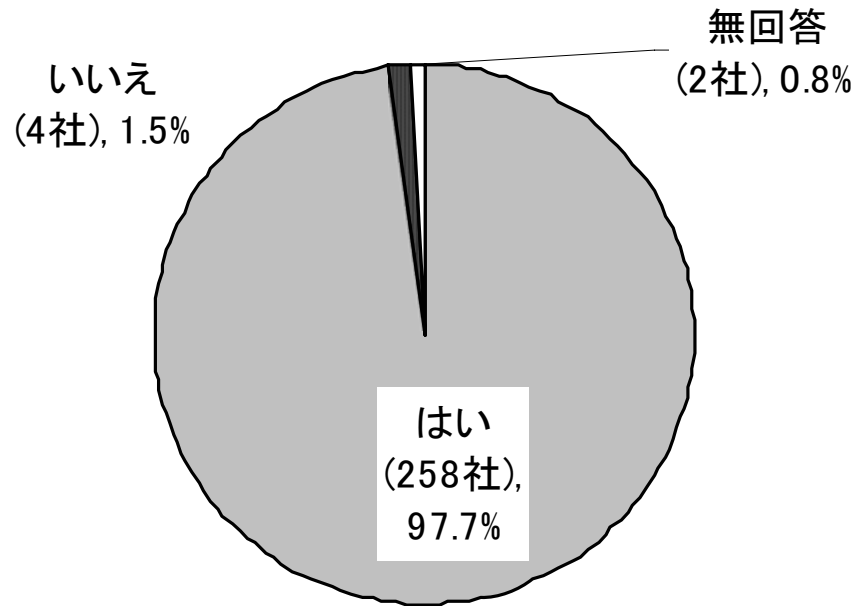


## 事後措置の内容

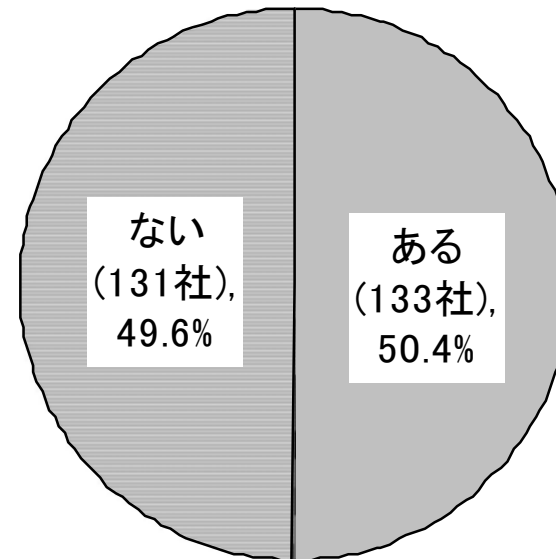


# 事業場における過重労働の実態

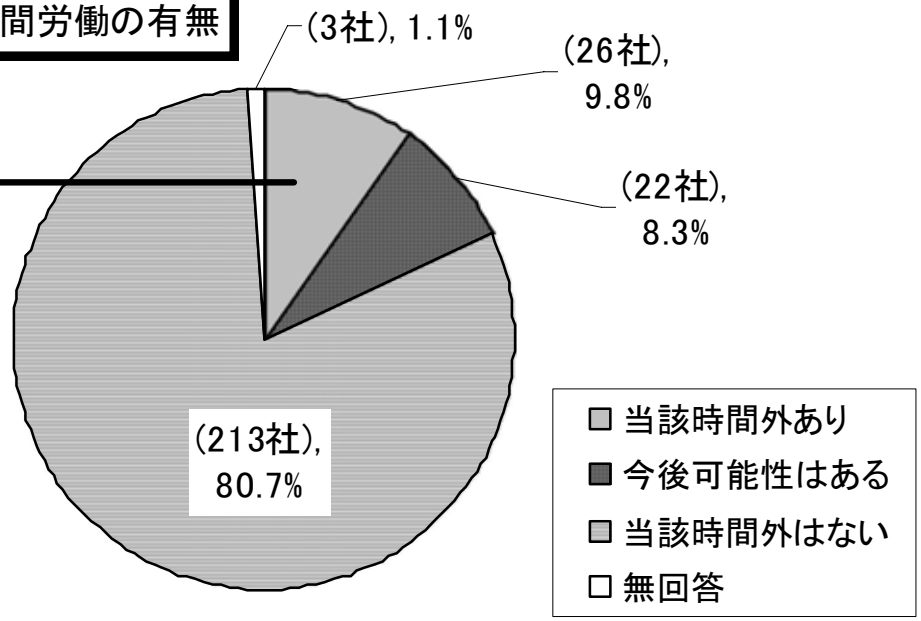
個々の従業員の労働時間の把握



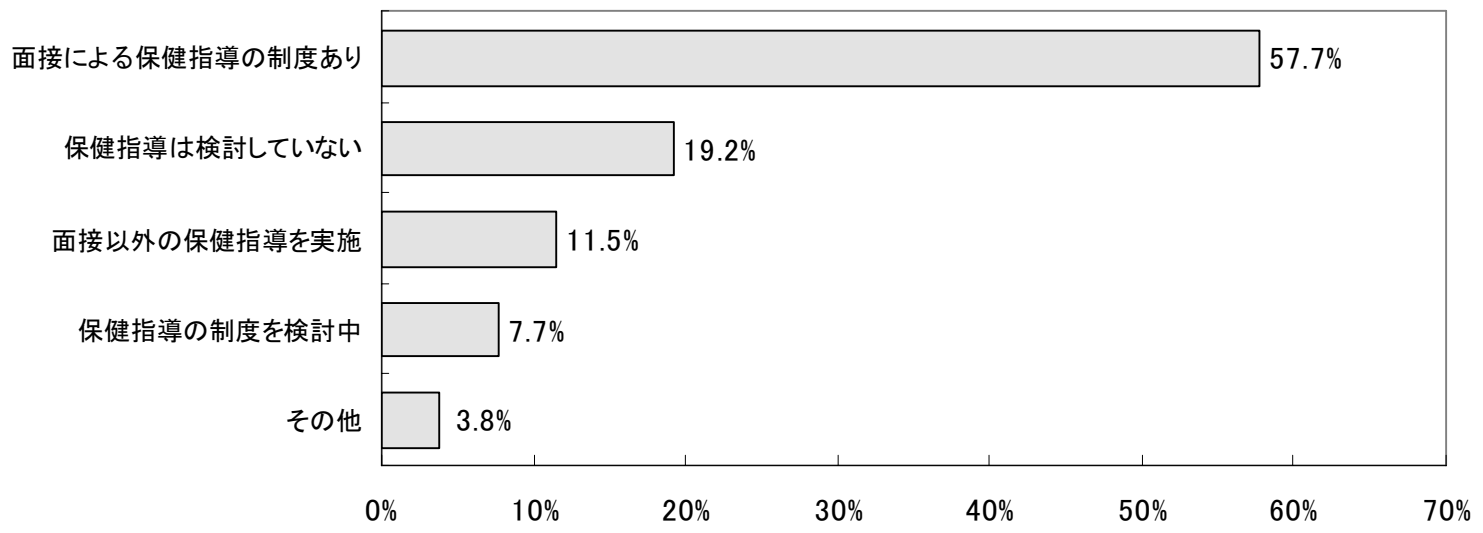
衛生委員会における過重労働についての審議



**長時間労働の有無**



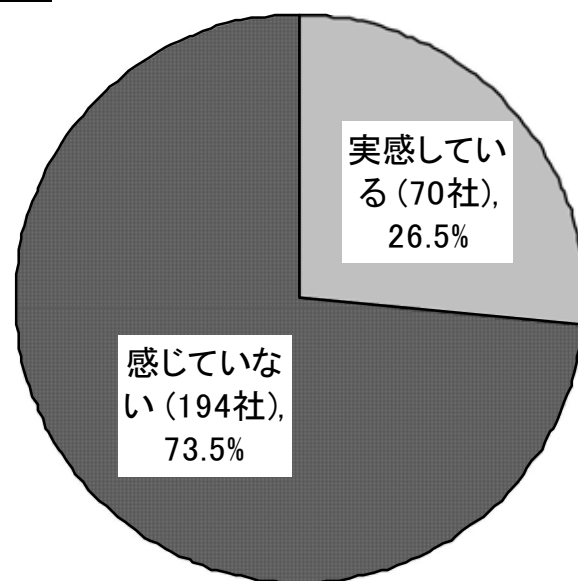
**面接保健制度の有無**





# 過重労働に関する事業場の認識

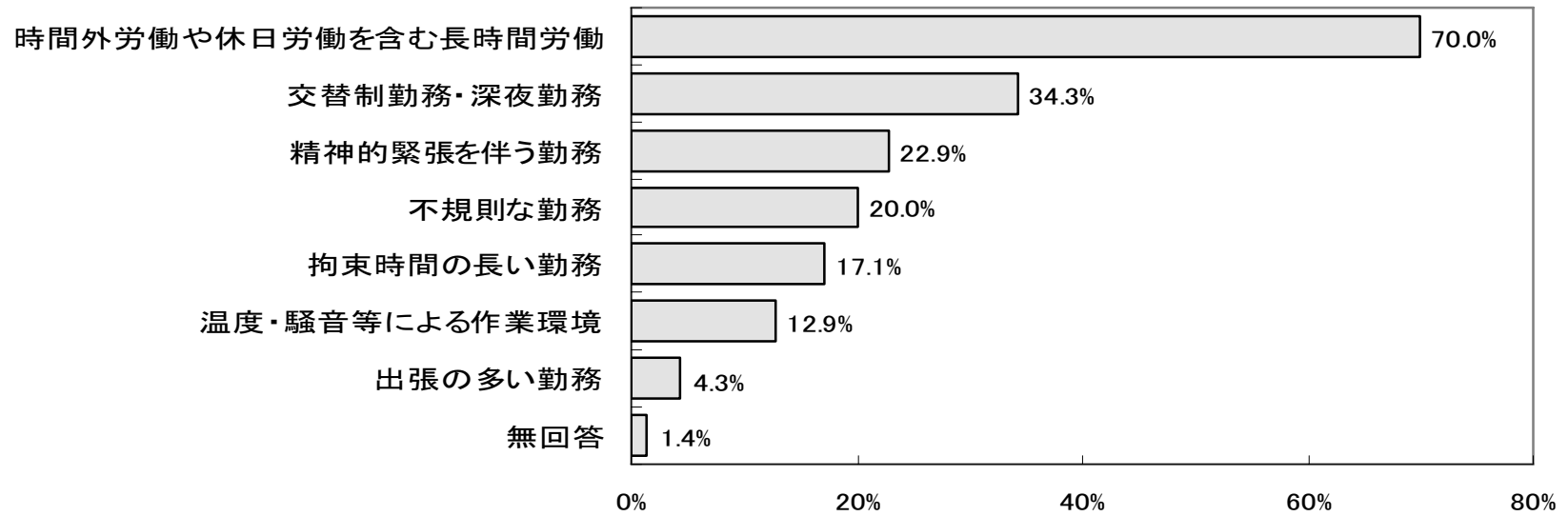
過重労働の実感



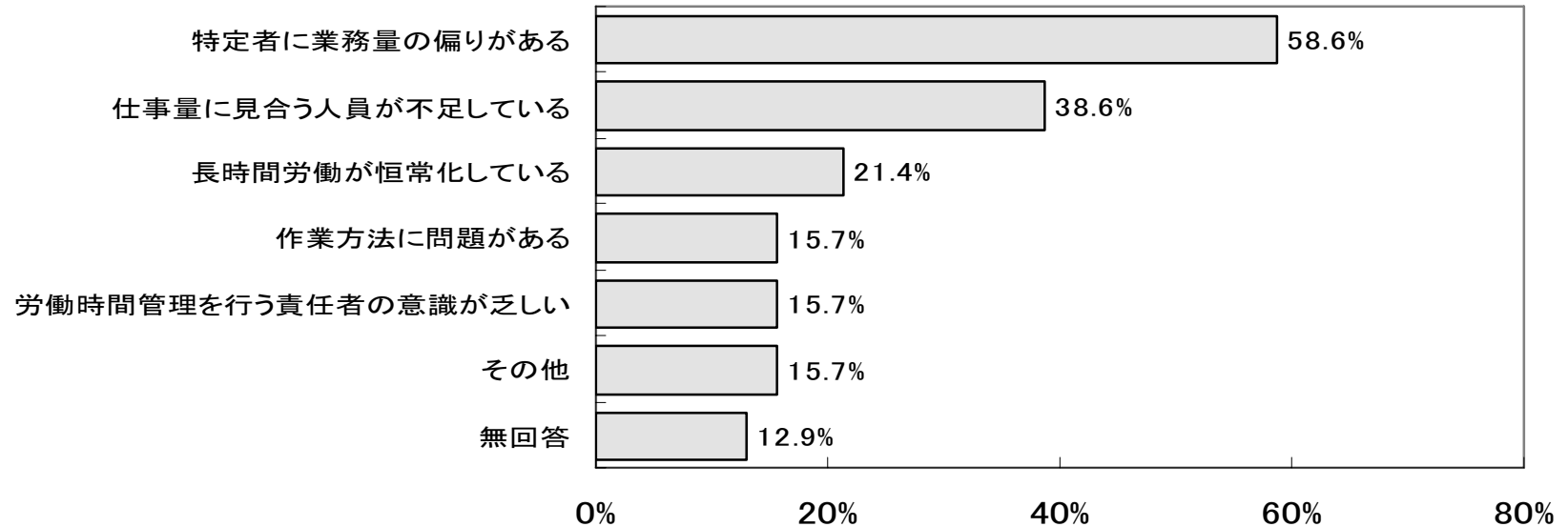
## 「過重労働があると実感しているか」

選択項目	総計		50人未満		50～99人		100～299人		300人以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
実感している	70	26.5%	5	19.2%	30	25.0%	22	23.7%	13	52.0%
感じていない	194	73.5%	21	80.8%	90	75.0%	71	76.3%	12	48.0%
合計	264	100.0%	26	100.0%	120	100.0%	93	100.0%	25	100.0%

### 過重労働と思われる勤務内容と作業環境

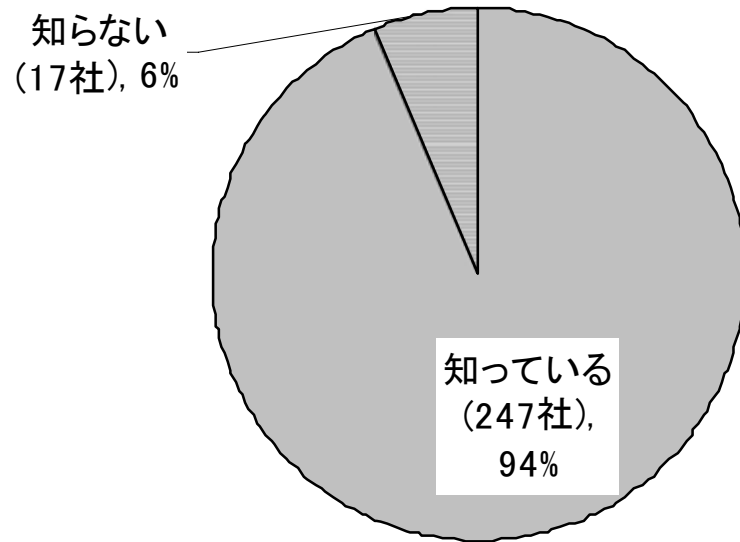


### 長時間労働となっている原因

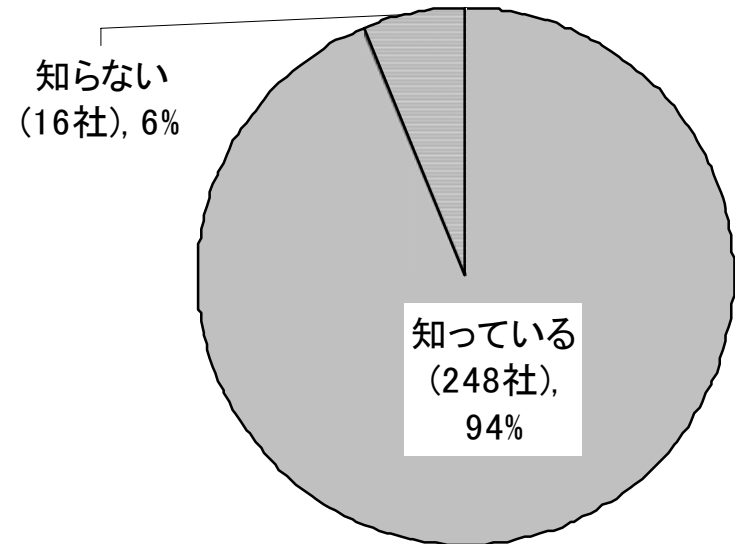


# 過重労働による健康障害の発症のリスクの認知

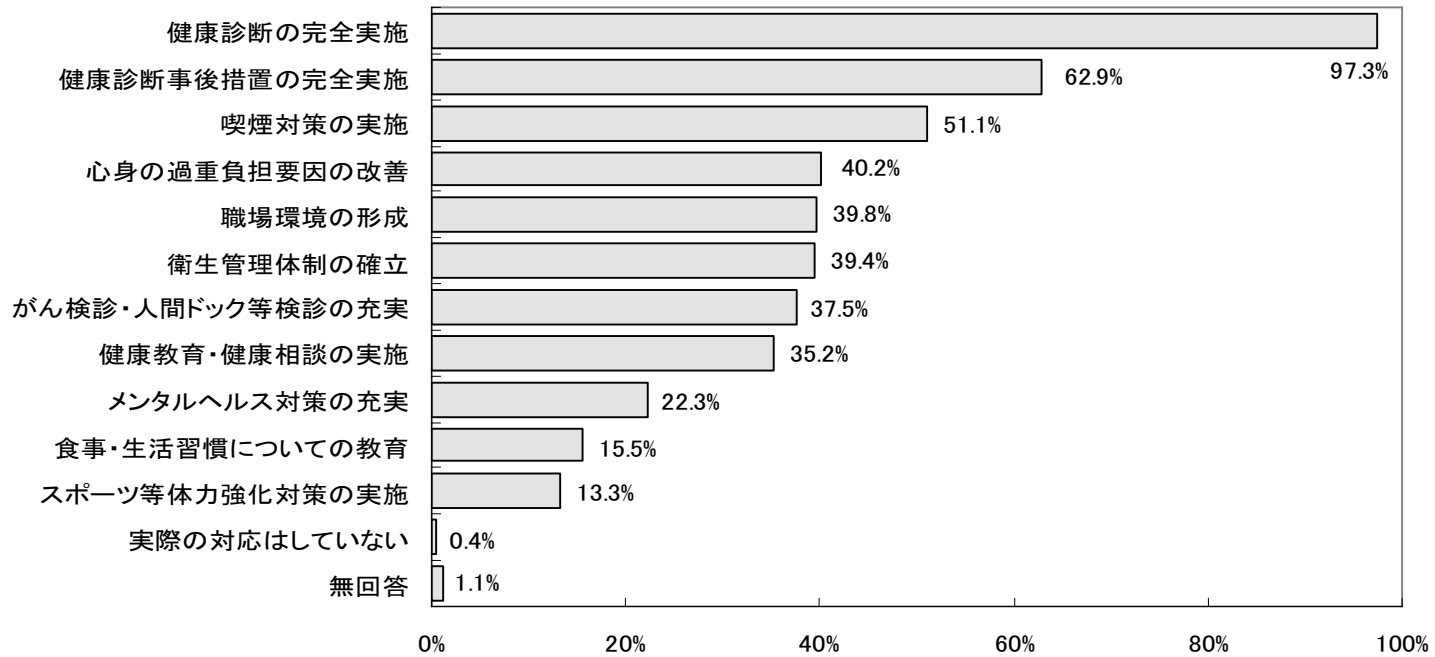
過重労働による脳・心臓疾患の発症のリスクの認知



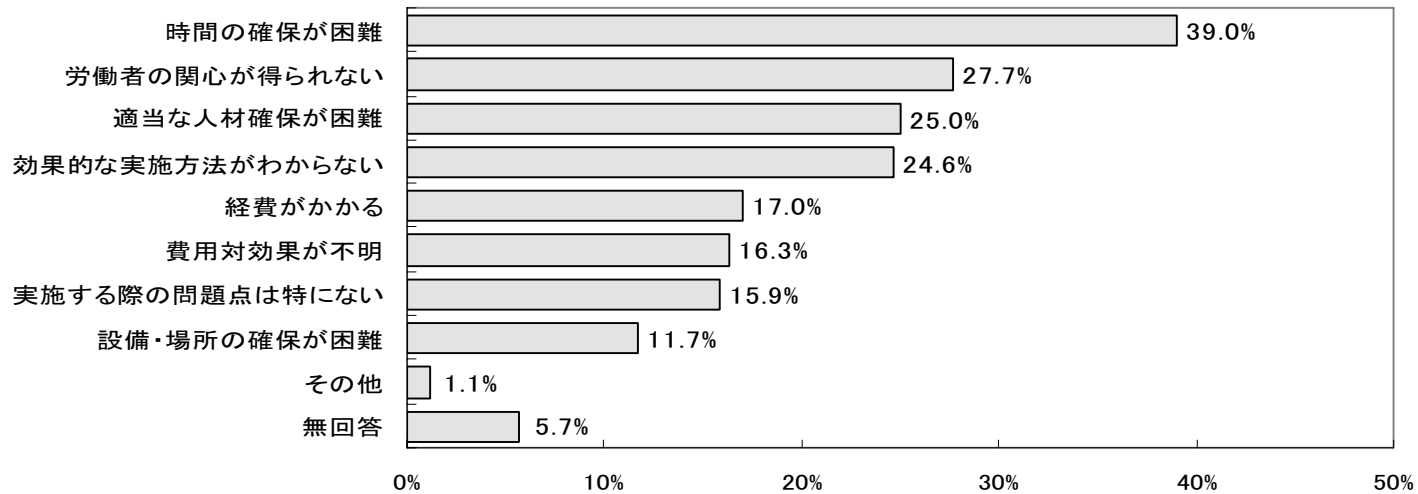
過重労働による精神疾患の発症のリスクの認知



### 健康確保のために重視し実際に対応している事項

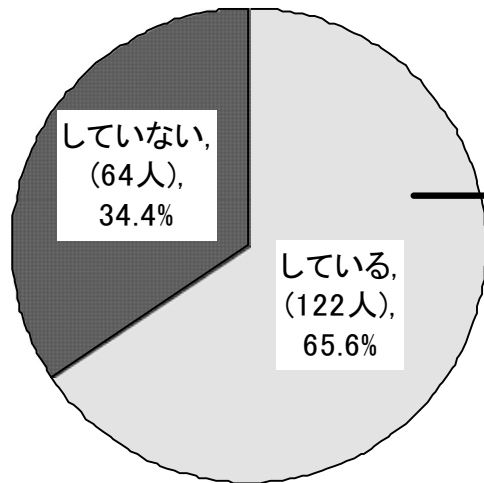


### 心身の健康確保を実施するうえでの問題点

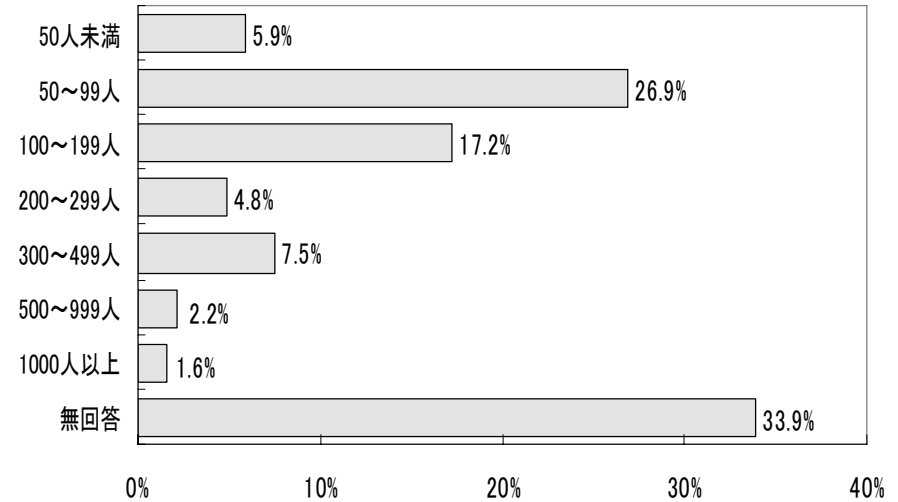


# 産業医としての勤務形態

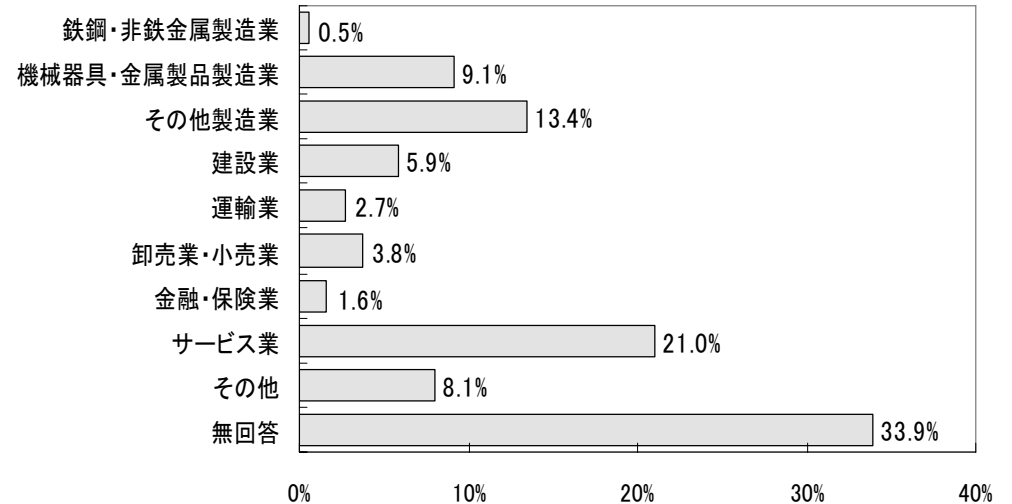
産業医としての活動



引き受け事業場の従業員数

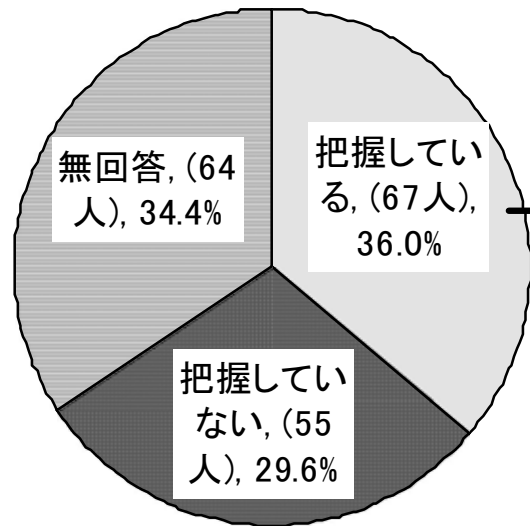


引き受け事業場の業種

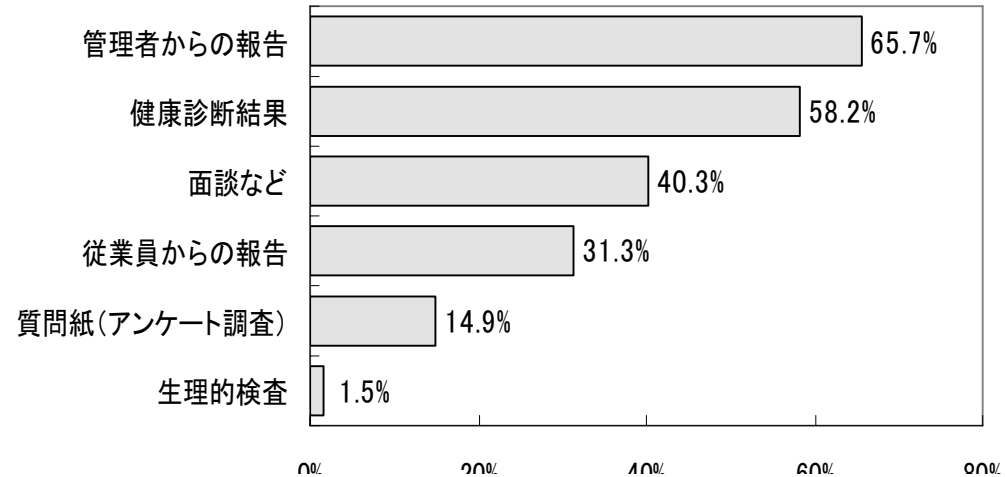


# 産業医の過重労働又は疲労蓄積の把握

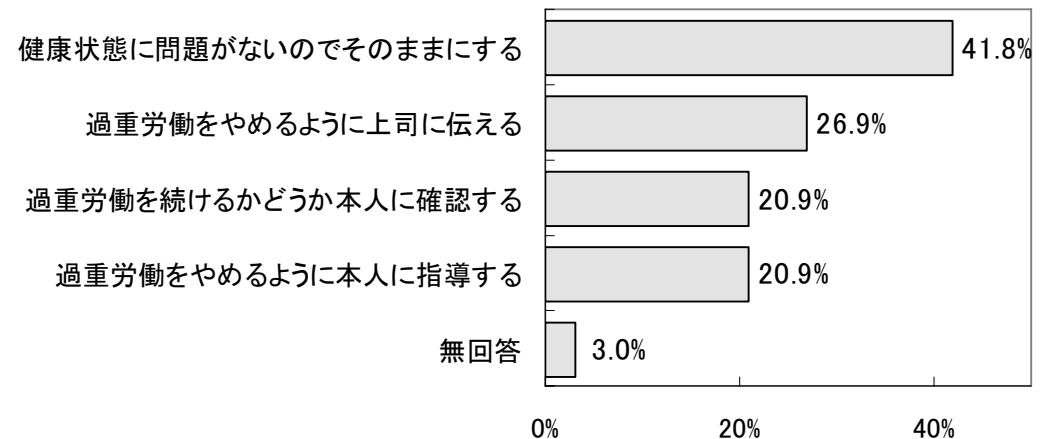
従業員の過重労働又は疲労蓄積の把握



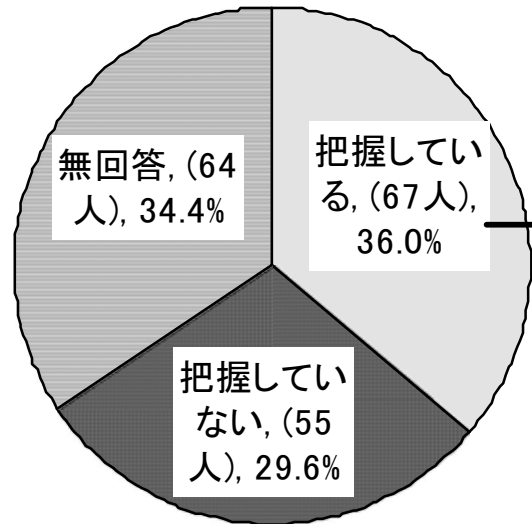
把握方法



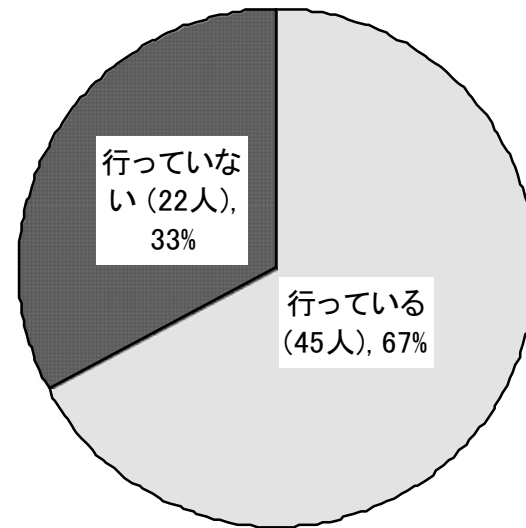
対応方法



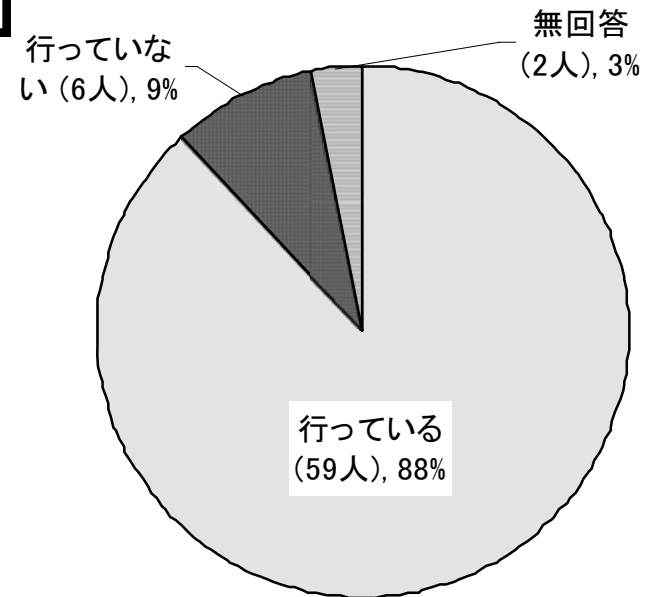
従業員の過重労働又は疲労蓄積の把握



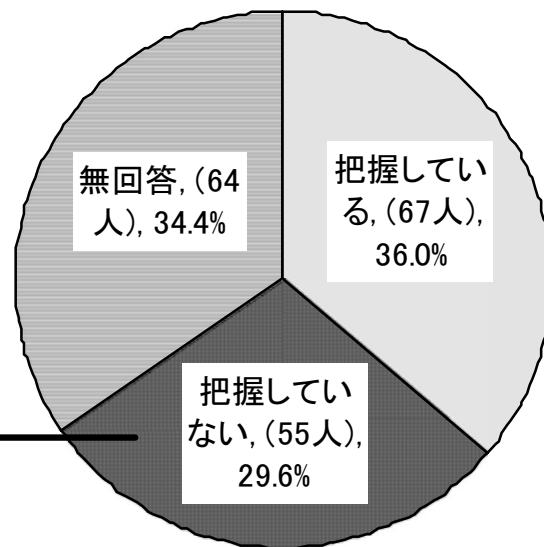
事業主への勧告



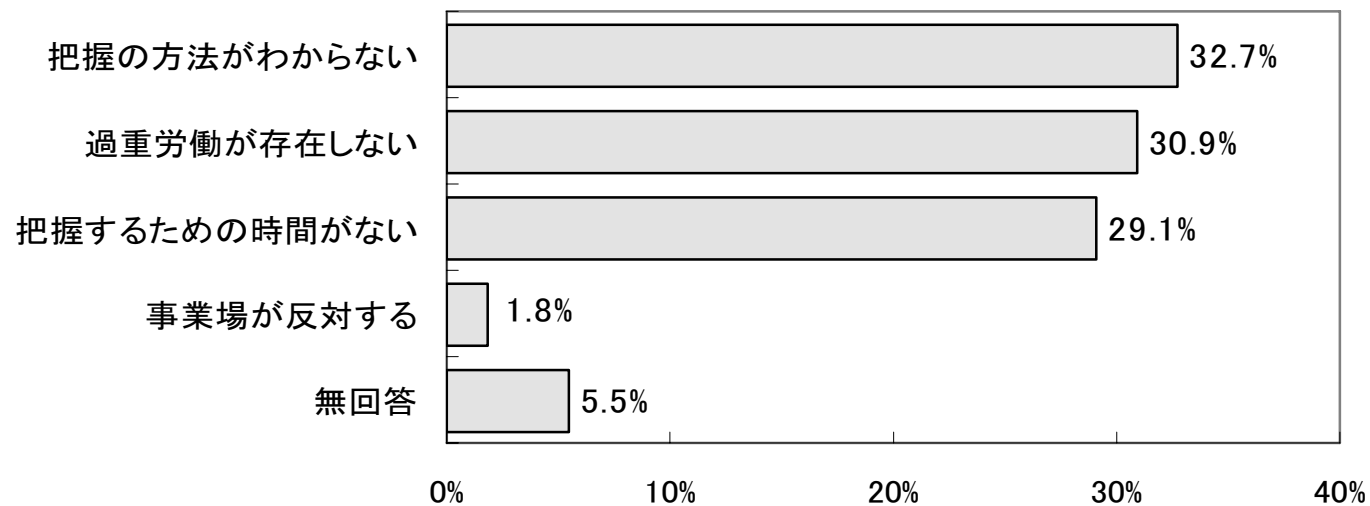
保健指導



### 従業員の過重労働又は疲労蓄積の把握



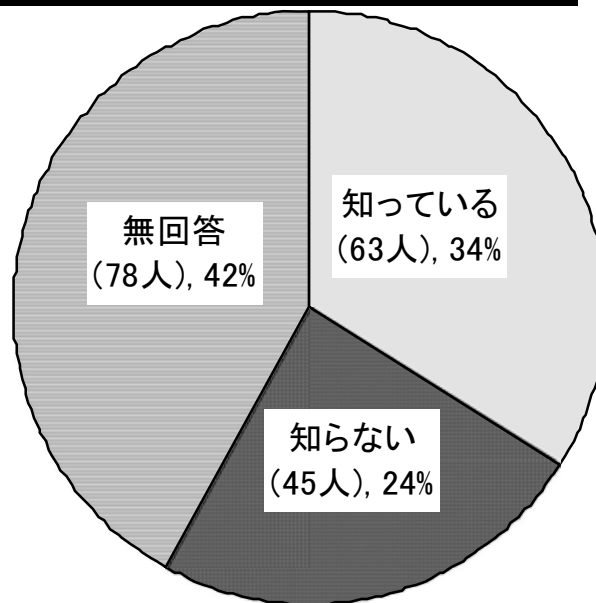
### 把握できない理由





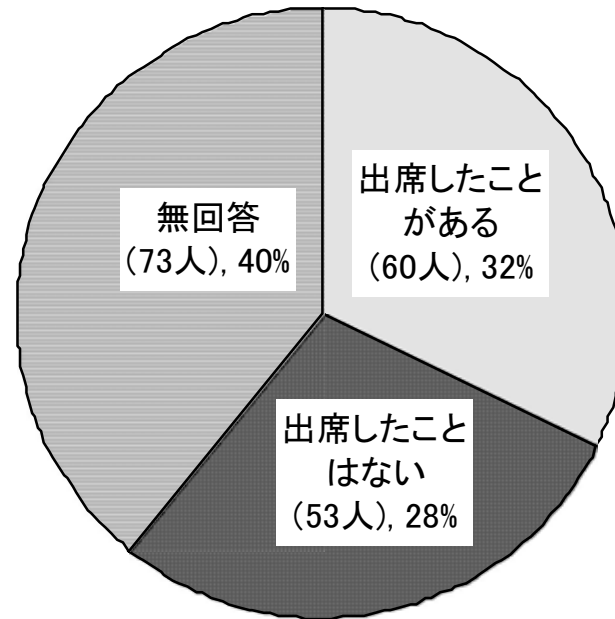
# 産業医の過重労働対策の認識

過重労働による健康障害防止対策における事業者の講ずべき措置について



選択項目	総計		産業医活動をしている		産業医活動をしていない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
知っている	63	33.9%	62	50.8%	1	1.6%
知らない	45	24.2%	43	35.2%	2	3.1%
無回答	78	41.9%	17	13.9%	61	95.3%
合計	186	100.0%	122	100.0%	64	100.0%

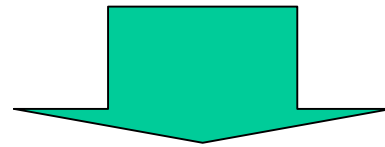
過重労働に関する研修会への出席



選択項目	総計		産業医活動をしている		産業医活動をしていない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
出席したことがある	60	32.3%	59	48.4%	1	1.6%
出席したことはない	53	28.5%	51	41.8%	2	3.1%
無回答	73	39.2%	12	9.8%	61	95.3%
合計	186	100.0%	122	100.0%	64	100.0%

# 調査結果の考察

- 過重労働に関する事業場の認識度は高かったが、健康障害を防止する観点から見ると、労務管理と健康管理との関連が不十分である。
- 事業場の過重労働対策について、産業医の認識がやや不足している。



- 事業場が産業医の活用を十分にされていない
- 産業医が事業場に対する産業保健活動への関与が不十分

# 今後の取組み

- ◎ 産業保健関係者に対する啓発活動
  - ・「過重労働による健康障害防止対策」の進展
  - ・「心の健康の保持増進指針」の周知
  
- ◎ 産業保健サービスの積極的提供
  - ・産業保健関連の情報提供
  - ・専門家の派遣、コンサルテーション
  - ・研修会の開催